



かく迎ふるを、翁は泣き嘆く。あなたは、断。なり。は、出だし

ラ四・命・謙・補。格助(引用)。言ふ。翁、答へて申す、かぐや姫

を。格助(対象)。養ひ。たてまつる。こと、二十余年に。なりぬ。『片時』と

ハ四・体・尊。格助(順確)。に。あやしくなり。はへりぬ。また異所に、かぐや姫

と。格助(引用)。申す。人ぞ。おはす。らむ。と。言ふ。ここに

サ変・体・尊。おはする。かぐや姫は。重き病を。し給へば、え

ダ下二・用。出で。おはします。まじ。と。申せ。ば、その返り事

は。なく。て。屋の上。に。飛ぶ車を。寄せて

「いざ、かぐや姫、きたなき所に、いかでか、久しくおはせむ。」

と。格助(引用)。言ふ。立て籠めたる所の戸、すなはち、ただ開きに

ぬ。終。格子どもも。人。は。なくして開きぬ。嫗。いだきて

み。存。体。たる。かぐや姫、外に。出でぬ。え。とどむ。まじけれ

ただ。ガ四・用。さし仰ぎ。て。泣き。をり。